

## 令和6年度9月補正予算（経済局関連部分）の概要

## 1 趣旨

食肉市場における「小動物解体ライン改修事業」について、「横浜市中央卸売市場食肉市場小動物解体ライン改修工事（食肉機械設備工事）」（以下、食肉機械設備工事とする。）の入札不調により、今年度の出来高が減少するため、減額補正を行います。

併せて、「小動物解体ライン改修事業」について、工程及び一部仕様の見直しにより、工事費の増額及び工期の延長が必要となったため、債務負担行為の期間及び限度額を変更します。

## 2 歳入歳出予算補正（補正額：▲690,000千円）

令和6年5月に食肉機械設備工事の入札を実施しましたが、予定価格を超過し入札不調となりました。再入札が必要となったため、当初予定より工事の開始が遅れ、令和6年度の施工期間及び出来高が減少することから事業費を減額します。

《補正額（経済局関連部分）》

単位：千円

事業名	補正額
小動物解体ライン改修事業	▲690,000

・補正前：700,000千円（市債：699,000千円 / 一財1,000千円）

・補正後：10,000千円（市債：9,000千円 / 一財1,000千円）

## 3 債務負担行為補正

## (1) 期間の変更（変更前：令和7年度 / 変更後：令和7年度から令和8年度まで）

工事期間中も市場機能を維持するためには、休場期間（土日祝日、GW、夏季盆休み、年末年始）に工事が必要となるため、工期を令和7年度から令和8年度に延長することに伴い、債務負担行為の期間を変更します。

## (2) 限度額の変更（変更前：1,200,000千円 / 変更後：2,800,000千円）

## ア 物価高騰への対応や工期の見直し

資材及び人件費等の高騰、入札不調に伴う工期の延長による整備費の増額に伴い限度額を変更します。

## イ 一部仕様の見直し

安全性・省力化を図るため、生体搬送装置等の一部仕様を見直すことによる整備費の増額に伴い限度額を変更します。

《変更前》

(千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
整備費	700,000	1,200,000	-	1,900,000
うち債務負担	-	1,200,000	-	1,200,000

《変更後》

(千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
整備費	10,000	1,212,000	1,614,000	2,836,000
うち債務負担	-	1,189,000	1,591,000	2,780,000

【参考1】特別会計 歳入歳出予算補正《中央と畜場費会計（該当部分）》

歳入

単位：千円

款 項	補正前の額	補正額	計
6款1項 市債	1,130,000	▲690,000	440,000

歳出

単位：千円

款 項	補正前の額	9月補正額	計	9月補正の財源			
				国費等	市債	その他	一般会計繰入金
1款2項 施設設備費	1,144,000	▲690,000	454,000	－	▲690,000	－	－

【参考2】小動物解体ライン改修事業

平成18年度から稼働している小動物（豚）解体ラインの老朽化が著しいため、食肉機械設備工事、機械設備工事、電気設備工事、建築工事を実施するものです。

【参考3】工事スケジュール

